

# 第 1 学年 生活科学 学習指導案

1 年 1 組 指導者 志賀直美

## 単 元 ためして くらべて みつけたよ！

### 1 本単元で子どもが創出と受容、転移を行う各教科等の本質（見方・考え方）

身近な物の特徴を生かすこと

2 本単元で、各教科等の本質（見方・考え方）の創出と受容、転移を行っている子どもの姿  
本学級の子どもたちは、グループの友達と協力し、物（紙粘土、プラスチック、発泡スチロール、段ボール、厚紙）の特徴を生かしたり補ったりしながら、水やり用のペットボトルを整理する入れ物をつくってきた。このような子どもたちが、身近な物の特徴を生かして、個々におもちゃをつくって遊ぶ学習に取り組む。

子どもたちは、カップに花を入れたり、箱をつないで剣をつくったりなど、遊びの中で経験を積み重ねながら、物の特徴（材質、形、大きさ、色）を無自覚に捉えている。本単元は、遊びやおもちゃづくりを通して身近な物と繰り返し関わり、物には特徴があることに気付く（創出）学習である。子どもたちは、風の力やゴムの力で動くおもちゃづくりをする中で、物の特徴を生かすことを考えていくであろう。その際、「より速く」「より高く」動くおもちゃをつくるよう活動内容を限定し、視点を絞ることを大切にしたい。そうすることで、明確な目的に向かって試行錯誤したり、友達と比べたりしながら、物の特徴を捉え直し、その特徴を生かしていく（受容）と考えるからである。更にその特徴を生かす場を考えることで遊びや生活をより豊かにしていく（転移）と考える。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 身近にある物そのものを使って「積む」「並べる」「転がす」遊びを通して見つけたことを言葉で伝えたり書いたりする時間を設ける。そうすることで、物には特徴があることに気付くことができるようにする。【創】
- 「より速く」「より高く」を視点におもちゃをつくっていく活動を仕組む。そうすることで、明確な目的に向かって試行錯誤したり、友達と比較したりしながら物の特徴を捉え直し、その特徴を生かしていくことができるようにする。【受】
- 単元の終末に学習全体を振り返り、物の特徴を生かせる場が他にないか問うことで、物の特徴を生かして遊びや生活をより豊かにしていくことができるようにする。【転】

### 3 本単元の目標（自然や物を使った遊び、生活や出来事の伝え合い、自分の成長）

- 遊びやおもちゃづくりを通して身近な物と繰り返し関わり、試行錯誤したり友達と比べたりしながら、物の特徴を生かした遊びを工夫してつくることができるようにする。
- 身近な物の特徴を生かして、遊びや生活をより豊かにしていくことができるようにする。

### 4 本単元における評価規準


知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
○物の特徴を生かして遊びやおもちゃを工夫する面白さや不思議さに気付いている。	○物の特徴を生かして遊びやおもちゃを工夫してつくっている。	○物の特徴を生かして遊びやおもちゃをつくり出そうとしている。

### 5 指導計画（全 18 時間）

- 第 1 次 身近な物を使って遊び、見つけた遊び方や物の特徴について伝え合う（6 時間）
- 第 2 次 身近な物の特徴を生かし、動くおもちゃをつくって遊ぶ（10 時間）【本時 3・4/10】
- 第 3 次 学習全体を振り返り、物の特徴を生かした遊びや生活を考える（2 時間）

6 本時案 【令和2年10月30日 10:20~11:50 多目的ルーム】

- (1) ねらい 身近な物と繰り返し関わり、試行錯誤したり友達と比べたりしながら物の特徴を生かしたおもちゃを工夫してつくることができるようにする。
- (2) 学習過程 ※一重下線は創出、二重下線は受容、破線は転移に対応する子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 本時の活動の見通しをもつ。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・試したいこと</li> <li>・友達と比べて見つけたこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと速く進む方法はあるのかな。</li> <li>Aタイヤを大きくしたら速くなると思ってポテトチップスの丸い蓋を集めてきたよ。</li> <li>B土台の上に大きいトレイをつけていたのを見たよ。それを試してみたいな。</li> <li>・<u>だったら、私は土台を工夫してみよう。</u></li> </ul>	<p>○見通しを交流する時間を設けることで、個々が明確な目的をもって活動を始められるようにする。【創】</p> <p>○大きさや長さ、形、重さの異なる物を準備することで、いろいろな物を試しながら物の特徴に気付いていくことができるようにする。</p> <p>【創】</p> <p>○工夫と結果を視点に話し合うように促す。そうすることで、一つ一つの気付きを関連付け、速く進むには物の大きさ・形・重さが関係していることに気付くと共に物の特徴を捉え直すことができるようにする。</p>
<p>ためしたり、くらべたりしてもっと速く進むおもちゃをつくらう。</p>		
<p>2 もっと速く進むおもちゃを工夫してつくる。(30分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・風を受ける工夫(大きさ、形、数)</li> <li>・移動距離を速くする工夫(タイヤの大きさや数、車体の重さや大きさ)</li> <li>・風を送る工夫(扇ぐ物や扇ぎ方)</li> </ul>	<p>Aタイヤを大きくしたら土台に入らなくなったよ。空き箱を使って大きくしよう。竹ひごも長くしないといけないな。</p> <p>Bトレイを大きくしたら速く進んだよ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>土台をトレイから段ボールにしたら遅くなったよ。重くなったのかもしれないな。やっぱりトレイに戻そう。</u></li> </ul> <p>Aできたぞ。あれ。思ったより進まないな。</p>	<p>○工夫と結果を視点に話し合うように促す。そうすることで、一つ一つの気付きを関連付け、速く進むには物の大きさ・形・重さが関係していることに気付くと共に物の特徴を捉え直すことができるようにする。</p> <p>【創】</p> <p>○工夫と結果を視点に振り返りを書くよう促すことで、試したことや比べたことから見つけたことを自覚的に捉えられるようにする。【受】</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>試したり、比べたりして、どんなことが見つかったかな。</p>  </div>		
<p>3 試したり、比べたりして見つけたことを伝え合う。(15分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・速く進んだこと</li> <li>・進まなかったこと</li> </ul>	<p>Aタイヤと土台を大きくしたのだけれど、進まなくなったよ。どうしてなのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土台をトレイにしたら速く進んだよ。</li> <li>A<u>そうか。もっと軽くすればよいのか。</u></li> <li>Bトレイを大きくしたら進んだよ。<u>風が当たるところの大きさが大事だよ。</u></li> </ul>	
<p>4 見つけたことを自分のおもちゃで試す。(20分)</p>	<p>A土台を軽くしたり、トレイを大きくしたりしたらさっきより進んだよ。</p> <p>Bよかったね。ぼくと競争しようよ。</p> <p>Aやった。ぼくの方が速かったよ。分かったぞ。<u>重さや大きさを考えて材料を選ばないといけないということか。</u></p> <p>Bぼくも土台をトレイにしてみようかな。</p>	
<p>5 見つけたことを伝え合い、振り返りを書く。(20分)</p>	<p>A<u>重さや大きさ、風の当たり方を考えることが大切だとわかったよ。トレイは軽いいろいろな大きさがあるな。次はみんなで競争したいな。もっと速い人がいるのかな。</u></p>	

(3) 板書計画

